

フランス、再生可能熱エネルギー基金を倍増

4月21日、フランスのエネルギー・環境・持続可能開発省のロワイヤル大臣は、再生可能エネルギーや熱回収によって生成される熱エネルギープロジェクトを支援する熱基金 (Fonds Chaleur) を2017年までに2倍に増額すると発表しました。これはフランスの地球温暖化効果ガスの排出削減と再生可能エネルギーの増大が期待できます。

2009年から設けられた熱基金は環境エネルギー管理庁によって管理され、2017年までに420Mユーロ（約550億円）が準備されることとなります。この熱基金はバイオマス、太陽光、地熱、バイオガスの再生可能エネルギーや環境から回収した熱エネルギーを利用する事業をサポートする資金としてこの5年間、3,200の事業所が熱基金の助成を受けています。この結果、年間150万石油換算トンに相当する熱エネルギーが再生可能エネルギーや熱回収によって生成されました。今回の熱基金の倍増により、2020年までに追加の550万石油換算トン相当の再生可能エネルギーによる熱エネルギー生成や熱回収が期待されます。



”回復と新ダイナミクス”をスローガンとした熱基金のプロモーションマーク

熱基金を倍増させることによって、以下の事業の拡大が期待出来ます。

- ・環境に隠れた熱：空気、河川、湖、池の熱を回収するヒートポンプ事業。
- ・嫌気性消化：下水、し尿汚泥処理によって発生したガスを都市ガスグリッドに注入する事業。
- ・バイオマスの運用：30M ユーロ（約 40 億円）が森林所有者による木材の供給事業の為、木の切り出しや保管のサポートに振り向けられる。
- ・冷却装置：再生可能熱エネルギーを使った新しい技術による吸収式冷凍装置やコールドネットワークのパイロット事業のサポートが出来る。
- ・簡素化：再生可能熱エネルギーを使った中規模施設の事業者の為の助成申請方法の簡素化や申請資格の寛容化でサポートできる。
- ・小規模プロジェクト：クラウドファンディングの投資者によって出資されている小規模事業者で、再生可能エネルギーで生成された熱エネルギーが 25 石油換算トンを超えるプロジェクトのサポートが出来る。

毎年、大規模なバイオマス熱や太陽熱プロジェクトはサポートされているが、中小規模プロジェクトの支援を目的とした様々な開発計画も検討されています。

フランスも英国の様に再生可能エネルギーで生成された熱エネルギーと環境から回収された熱に対して、積極的にインセンティブを付けその増大を図っています。日本でも同様なインセンティブの早期導入を期待したいですね。（了）